

# 令和5年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和5年6月15日（木）

午後6時～午後8時5分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、村田委員、川浪委員、  
佐藤（一）委員、高木委員、一條委員、外崎委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、奈良総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、石岡主査、  
比内主事、片岡主事、齊藤主事

## 2 審査方法

### （1）一般部門

1事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

#### 【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

#### 【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

## 3 審査結果

- ・一般部門 17事業中5事業
  - 採択事業 5事業
  - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 2事業中0事業
  - 採択事業 0事業
  - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	13	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	第3回 弘前さくら夢 project～ 小野伸二サッカー教室		
団体名	NPO法人弘前Jスポーツプロジェクト		

【主な意見】

- ・実際に現場で生の技術を見たり、音を感じることは大事だと思うので、できるだけ見学者を増やす工夫をしていただきたい。
- ・この事業が少しずつ改良されながら、弘前の多く子どもたちにプロの技術や選手の生き方が伝わって広がってくれることを期待したい。
- ・落選した子どもたちへ動画を配信するなどの取り組みは継続してほしい。
- ・プロの選手が弘前に来たことの高揚感を、広く市民に伝える取り組みも行っていたきたい。

【審査結果】

合計点 70.6点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員10名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.4
合計		70.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	4	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	みんなの居場所 ステップ		
団体名	みんなの居場所 ステップ44		

【主な意見】

- ・就学前の子どもが集まれるようなイベントで活動者を増やし、その後、顔見知りになった方と一緒に、子どもの成長に応じたイベントを作ると、長い期間、親子が地域の人と触れ合える場を作ることができるので、戦略的に行ってみてはどうか。
- ・居場所づくりをやるのは大変だと思うが、地域で何を目指していくのかを考えることが大事だと思う。
- ・イベントで参加者を増やしていく段階だと思うので、地道に頑張っていたきたい。

【審査結果】

合計点 73.8点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員10名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		73.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	10	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	こぎんと麻布 ～こぎんの原点を巡る映画祭～		
団体名	KOGIN BASE		

【主な意見】

- ・まずやってみて頑張っていたいただきたいが、事業を行っていく中で、将来を見据えた具体的な計画、活動を考えて示していただきたい。
- ・こぎん刺しが凄く好きな人の中には、こぎんの大元のところからやりたいと思う人もいると思う。
- ・こぎんフェスに出展されている方にアプローチすることで、コミュニティが広がったり、事業に賛同してくれる人を増やすことができるのではないか。

【審査結果】

合計点 61.4点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 10名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.4
合 計		61.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	16	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	冊子「三大地区地域の絆」改訂版Ⅱ作製事業		
団体名	三大地区地域づくり連絡協議会		

【主な意見】

- ・学校教育としても良い教材であると思う。また、冊子の作製後は、報告会・研修会を開催し、地域の様子、歴史を振り返り三大地域の理解を深めるなど、作りっぱなしになっていないことを評価したい。
- ・避難所の位置が大きいマップにしか載っていないので、小さな安全マップの方に市が指定している緊急避難所の場所も書き加えていただきたい。
- ・実際に歩きながら避難所の場所を教えていけば、万が一の時に、より一層心強いのではないか。

【審査結果】

合計点 80.6点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		80.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	2	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	十面沢お山の会（お山参詣）		
団体名	十面沢お山の会		

【主な意見】

- ・子ども達が制作する過程や、子ども達の反応などを SNS で発信すると、他の地域の人たちが興味を持ってくれたり、参加してくれることにつながるのではないかと。
- ・昔行っていたやり方を復刻させることは、お山参詣の楽しみ方の一つになると思う。お面は面白い材料だと思うので、観光資源や地域を盛り上げる材料として活用してみてもどうか。
- ・大学生の力を借りて盛り上がりを見せている祭りの事例もあるので、地域外の人との協力を受け入れるなど、担い手を増やし祭りを継続していくことを考えてみてはどうか。

【審査結果】

合計点 78.2 点  $\geq$ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$ 3 点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6 点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）  
 ※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		78.2

# 令和5年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和5年6月16日（金）

午後6時～午後8時5分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、藤田委員、村田委員、  
川浪委員、佐藤（一）委員、高木委員、一條委員、外崎委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、山崎主幹、菊池主幹兼協働推進係長、葛西主査、  
石岡主査、比内主事、片岡主事

## 2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

## 3 審査結果

- ・一般部門 17事業中5事業
  - 採択事業 5事業
  - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 2事業中0事業
  - 採択事業 0事業
  - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	9	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	親子で一緒に遊ぼう！学ぼう！楽しもう！「あんさんぶる」		
団体名	ファミリーサポート はぐふあみ弘前		

【主な意見】

- ・参加費をきちんと徴収することを考えられていて、とても良いと思う。継続して事業を実施することができるし、いずれは自立もできるのではないかな。
- ・かなり実現性の高い企画だと思う。他の子育て支援のイベントとバッティングしないようにすることを考えるともっと良い企画になると思う。
- ・子育て環境を良くしたいという思いを持って活動するする団体が、弘前にはたくさんあるので、一緒にイベントをやるなどの声かけをしてみてもどうか。

【審査結果】

合計点 80.2点  $\geq$  60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$  3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		80.2



《審査内容》

一般部門

事業番号	15	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	こどもの生活教育環境向上プロジェクト		
団体名	E.らぼ		

【主な意見】

- ・講師のスケジュールを優先して、事業の周知期間が短くなってしまい、事業の効果を十分に出せない可能性があるのが非常に残念である。
- ・個人を変えるのも凄く大事だが、組織や仕組みを変えていくことも大事ではないか。
- ・他の国の教育について知る機会は凄くいいことだと思うが、実践できる具体的なことを得られるものにしていただきたい。
- ・今後は、参加者がそれぞれで実践してみたことを共有するなどのネットワークを作る取り組みについても行ってほしい。

【審査結果】

合計点 62.5点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.0
合計		62.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	『手作りケア帽子でゆるくがん患者さんを応援!!』		
団体名	ほほえみネットワーク		

【主な意見】

- ・看護科の学生と一緒に活動するのはとても良い。学生にとっては、会の方から実体験を聞くことができる貴重な機会だと思うので、これからも続けていただきたい。
- ・非常に継続してほしい価値ある事業なので、世代が変わっても活動が継続できる仕組みづくりを考えていただきたい。
- ・今後は視野を広げて、作業は参加できないが寄付で参加したいという方のための窓口を作ると良いのではないかと。

【審査結果】

合計点 84.7点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$ 3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)  
 ※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.9
合 計		84.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	みんなのウォークラリー大会<街の中にある「ひろさき色」を探して歩こう Vol. 2>		
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会		

【主な意見】

- ・地元でもいつ建ったか分からない建物があるし、市内を歩いて気づかなかったことを発見できる良い事業であると思う。
- ・観光の視点から、弘前を知ることができる面白い事業で、発展性があると感じる。
- ・これまでの事業の他に、強気の価格設定で、本格的な方向けの充実したコースを作り、試しにやってみてはどうか。
- ・色を探すテーマ性はこれまでのまま、弘前の要所巡りをするものにするのと、県外の方にも来てもらえるのではないか。

【審査結果】

合計点 76.4点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択(申請額どおり)  
 ※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合計		76.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	11	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	岩木山エコプロジェクト		
団体名	岩木山観光協会		

【主な意見】

- ・不法投棄されているものを一掃する取り組みと同時に、不法投棄をさせない取り組みもやらないと、この事業をずっと行い続けなければならなくなる。これは、行政側と連携して進めるべき問題であると思う。
- ・清掃には参加できなくても、違う形で活動を応援できることを、もっと多くの人に宣伝すると思う。

【審査結果】

合計点 83.8点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$ 3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点  $\Rightarrow$ 採択(申請額どおり)  
 ※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合 計		83.8

# 令和5年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（3日目）

日 時：令和5年6月17日（土）

午前9時～午後0時5分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、藤田委員、  
村田委員、川浪委員、高木委員、佐藤（萌）委員、一條委員、外崎委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、中畑主査、  
石岡主査、赤石主事、比内主事、片岡主事

## 2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門

1事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

不採択…出席委員の過半数が否と判断した場合

## 3 審査結果

- ・一般部門 17事業中7事業
  - 採択事業 6事業
  - 不採択事業 1事業
- ・スタート部門 2事業中2事業
  - 採択事業 2事業
  - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	5	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	弘前ねぶたまつりねぶたロケーションリアルタイム発信事業		
団体名	弘前大学丹波研究室		

【主な意見】

- ・ねぶたの位置情報が分かるという仕組みは面白いが、それが地域の活性化にどうつながっていくのかをきちんと効果検証をして、後輩にも正確にしっかりと引き継いでいていただきたい。
- ・途中参加の人も簡単に合流することができるし、子どもの送り迎えにもとても役に立つと思う。空いている飲食店の情報を入れるなど、どんどん発展させていってほしい。
- ・祭り関係者のほか、お店や様々な団体に宣伝してもらおうなど、より多くの人にシステムのことを知ってもらえるよう考えていただきたい。

【審査結果】

合計点 66.5点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.2
合計		66.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ミニスティールパン製作ワークショップ2023		
団体名	弘前大学スティールパン部		

【主な意見】

- ・特徴のある面白い楽器で、非常に可能性を感じるので応援したい。
- ・市民が日常的にスティールパンに触れることができる＝文化として一歩進んだということであると思う。そういう機会を定期的に作ってほしい。
- ・自立することも大事だが、大きなビジョンを実現していくために、具体的に何をやっていくかを併せて計画していただきたい。
- ・今後は自分たちが講師となってワークショップをしたり、小さな会場でやるなど経費を抑える工夫をすると、自立に近づいていくと思う。

【審査結果】

合計点 66.5点 ≥60.0点，各審査項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.2
合計		66.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	茂森新町ねぶた同好会創立50周年記念誌作成事業		
団体名	茂森新町ねぶた同好会		

【主な意見】

- ・紙媒体だと限られた数しか作成できないため、団体のホームページなどを活用し電子媒体でネット上に公開すれば良いのではないかと。
- ・昔から立派なねぶたを作っている町会で、50周年を迎えるにあたり色々な出来事や歴史があったと思うので、ぜひ後世に残るようなものを作成していただきたい。
- ・市民から一目置かれている団体だと思うので、広く市民からも団体のねぶたに対する想いなど寄稿してもらっても面白いものができると思う。

【審査結果】

合計点 78.2点  $\geq$  60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$  3点  $\Rightarrow$  採択 (申請額どおり)

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		78.2



《審査内容》

一般部門

事業番号	3	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	消費者教育講座「親子で楽しく遊ぼう！『きみとタノシーの一日すごろく』」		
団体名	Kirschbaum（キルシュバウム）		

【主な意見】

- ・こういった講座は凄く大事だと思う。良い取り組みなので、銀行や保険会社、被害を未然に防ぐという意味で警察にも協賛等をお願いする働きかけをしてはどうか。
- ・継続して参加者にアンケートを行い、成果を確認している点が凄くいいと思う。
- ・1日の参加で子どもが理解することは難しいので、講座後に実生活で親子が実践できることを考えるなど、取り組みを継続していく中で内容をブラッシュアップしていただきたい。
- ・事業名からは少し固い印象を受けるので、事業を周知する際は、参加したいと思わせるようなイベント名にするなど、見せ方を工夫してはどうか。

【審査結果】

合計点 73.0点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		73.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	8	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	弘前市前川建築の環境測定による新たな歴史的価値の発見		
団体名	前川建築環境測定プロジェクトチーム		

【主な意見】

- ・改修と合わせてプラスアルファのことをやる際に、市や建築事業者の参考データとなるのではないかと。
- ・学びの場を提供するだけでなく、そのデータが市民に生かされたり、観光につなげられるようなアイデアがあると、より一層、前川建築の魅力も高まっていくと思う。
- ・内容は凄く理解できて良い事業だと思うが、最終的には計測データが所有者たる市に還元されるので、1%を活用するよりも、市の別の部署で担って国の補助金を活用するなど、別の手段を考えてみてはどうか。

【審査結果】

合計点 63.2点 ≥60.0点，各審査項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.7
合計		63.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	12	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	復活!!清水大祭と共同開催する夏祭り		
団体名	楽しいね!!東目屋実行委員会		

【主な意見】

- ・お参りに来た方に対して御朱印や似顔絵などを買ってもらうなど、自分たちで収入を作り出すことについても考えていただきたい。
- ・歴史的な意味も大きい神社で雰囲気も素敵なので、普段からも訪れてもらえる場所としてPRして、また元のように盛大なお祭りが開催できるよう頑張っていただきたい。
- ・今後、津軽特有の一代様文化を活かしていくと考えているのであれば、各神社とのつながり作りなど、祭りの開催から発展した活動に力を入れていただきたい。
- ・東目屋は弘前の入り口にある地理も活用しながら、事業を成長させていただきたい。

【審査結果】

合計点 76.7点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		76.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	17	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「harappa映画館」		
団体名	NPO法人 harappa		

【主な意見】

- ・10年以上継続してきた事業なので、団体が描いたビジョンに対してどういう成果が出ているかを評価したうえで、事業を継続していく意義を考えていただきたい。
- ・映画鑑賞の機会の提供にとどまらず、他の事業との連動などにより、映画を切り口とした文化事業の展開を期待したい。

【審査結果】

合計点 56.5点 <60点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 <6点の項目有 ⇒不採択  
 ※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	5.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	4.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.7
合計		56.5

《審査内容》

スタート部門

事業番号	1
事業名	こぎん、エコクラフト、アメリカンフラワーワークショップ
団体名	手作り工房【さーくる】

【主な意見】

- ・土手町に賑わいを創出し、活性化したいという想いを感じたので、ワークショップの他にも土手町に立ち寄れる企画などを考えながら事業を発展して行ってほしい。
- ・実施時期がまつり期間で、観光客も多くなるので、より対象者を明確にして周知方法なども検討していただきたい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査

《審査内容》

スタート部門

事業番号	2
事業名	Sott Sott の居場所
団体名	Sott Sott

【主な意見】

- ・子育て中の方や高齢者を対象とした居場所づくりはこれまでに行われてきたが、働くことに悩んでいる方などの居場所づくりははじめてであるので、見守りながら応援したい。
- ・色々な手段で居場所づくりがなされていて、民間で実施する良いところが出ていると思う。
- ・行政だけではなく、任意の団体でもこういった活動がなされると、悩んでいる方は少しずつでもみんなの中に出ていって、社会に復帰していけるのではないかと思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査